



News Release

報道関係各位

2023年1月12日

株式会社アドバンスト・メディア

医療分野向けアプリケーション“声マウス” 「AmiVoice® VM (アミボイス ブイエム)」をリリース マウスやキーボード操作を代替し効率化と快適化を提供

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木 清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、AI 音声認識 AmiVoice を活用した医療分野向けアプリケーション“声マウス”「AmiVoice VM (アミボイス ブイエム)」をリリースしました。

「AmiVoice VM」は、病院・クリニック、調剤薬局、介護施設などで働く全ての医療従事者にマウスやキーボード操作の音声での代替による効率化と快適化を提供する音声認識ソフトです。この度、病院・クリニック向けの「AmiVoice VMH」、調剤薬局向けの「AmiVoice VMP」、介護施設向けの「AmiVoice VMC」の3種類の製品をリリースします。特に病院、調剤薬局においては、適時、適所でマウスやキーボード操作が不要になることで、オンライン診療における電子カルテ記入などに効率化とそれらの効果も含む快適化を提供します。

複数の高精度な音声認識エンジンを搭載しており、適時、適所で使うことで利用の幅を大きく広げ、一般文章、住所、長い数字列、変換が煩わしい英字・数字・記号の混在などのPCにおけるキーボードによる入力操作を効率化させることができます。

また、コマンドビルダーにより高精度エンジンが機能する適所へのマウス移動やキーボードによる入力操作などを自動化する音声コマンドを作成・登録することができます。これらの音声コマンドを適時発話することで、「AmiVoice VM」が適時、適所で高精度の入力を代わりに行ってくれます。これは、単に効率化をもたらすばかりでなく、AIが作業を代替してくれるという快適さをももたらします。

コマンドビルダーはマウスやキーボード操作の代替という実働機能を生成できるプログラミング不要のAIの知識ベース構築環境ですのでAI利活用のスキルの習得が極めて容易です。

経済産業省は、デジタル庁を設立するなど日本全体のDXを推進する中で、リスクリング[※]によるDX人材育成推進を主導しています。政府が5年で1兆円の投資を行うと発表したリスクリングの対象には、AIの活用などのスキル向上が含まれています。

「AmiVoice VM」は、DXの促進はもちろん、マウスやキーボード操作を必要とする仕事量の多い方が、コマンドビルダーにより音声でマウスやキーボード操作をAIに代替させるスキルの向上を可能とする製品としての活用も期待されます。

また、アドバンスト・メディアは「AmiVoice VM」を、AIと人の協働作業によって、人の能力を向上させ、人がより快適に、より創造的な業務に注力できる「AISH (アイッシュ: AI Super Humanization)」を推進する製品のひとつとして位置付けています。

【「AmiVoice VM」の主な特長】

■ 複数の高精度音声認識エンジンによる効率化

医療分野一般エンジン、一般分野汎用エンジン、住所専用エンジン、英数記号専用エンジンなど、複数の高精度音声認識エンジンを実装し、従来では実現できなかったさまざまな入力対象のアプリケーション

のさまざまな入力箇所での効率的な入力を実現します。

■AI に代替させることによる効率化と快適化

コマンドビルダーによって音声コマンドの読みや処理を教えることで、音声でのマウスやキーボード操作の代替による効率化と快適化が可能になります。

■使った分だけの導入しやすい料金体系

製品をインストールした PC の台数やユーザー数に関わらず、使った分だけ課金される合理的な料金体系の導入しやすいサービスです。

■価格

月額：1 ライセンス 6,600 円（税込）～／初期費用 0 円

アドバンスト・メディアでは、さまざまな業種・業態で、DX の推進が喫緊の課題とされる中、AI 音声認識と音声認識 AI を核とした新たな課題解決ツールの市場導入・普及を通じて、あらゆる企業の生産性向上、そして、働き甲斐改革を経て、AI と共存するサステナブルな「人々の働き」の創造に貢献してまいります。

※デジタル技術の進展に伴って新しく生まれた業務に対応するスキルを身につけるために、人材の再教育や再開発を行う取り組みをしています。

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3,031 万円（18,392,724 株）（2022 年 9 月末現在）

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate「音声認識市場動向 2022」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail： press@advanced-media.co.jp ・ TEL：03-5958-1307	医療事業部 ・ E-mail： ami-medical-sales-ml@advanced-media.co.jp